



47 武陵桃源・瀛洲神境

富岡鉄斎 対幅 大正12年(1923)
紙本着色 本紙各175.0×47.9

京都市よりの献上。画題はいずれも中国の故事によるもので、「武陵桃源」は仙人の住む桃源郷、「瀛洲神境」は蓬萊、方丈と共に語られる三神山の一つである。鉄斎晩年の作であるが、他の作品と比べて筆法、賦彩ともに緻密で丁寧、そして繊細であり、奥行感のある力強い作品となっている。皇室を敬愛していた鉄斎の思いが感じられる。

<展示 第3期-17>

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝^{いわい}美^{のび}——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections